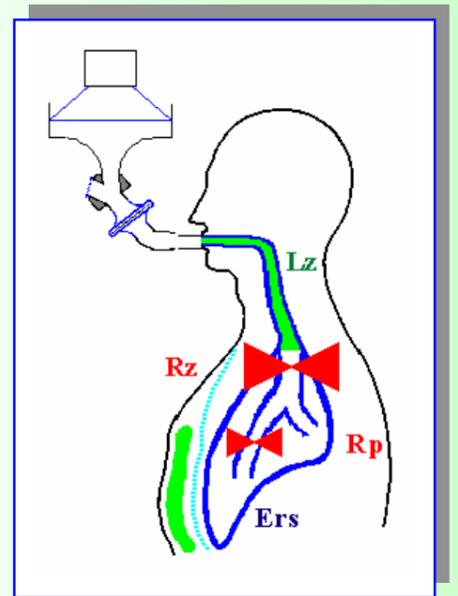
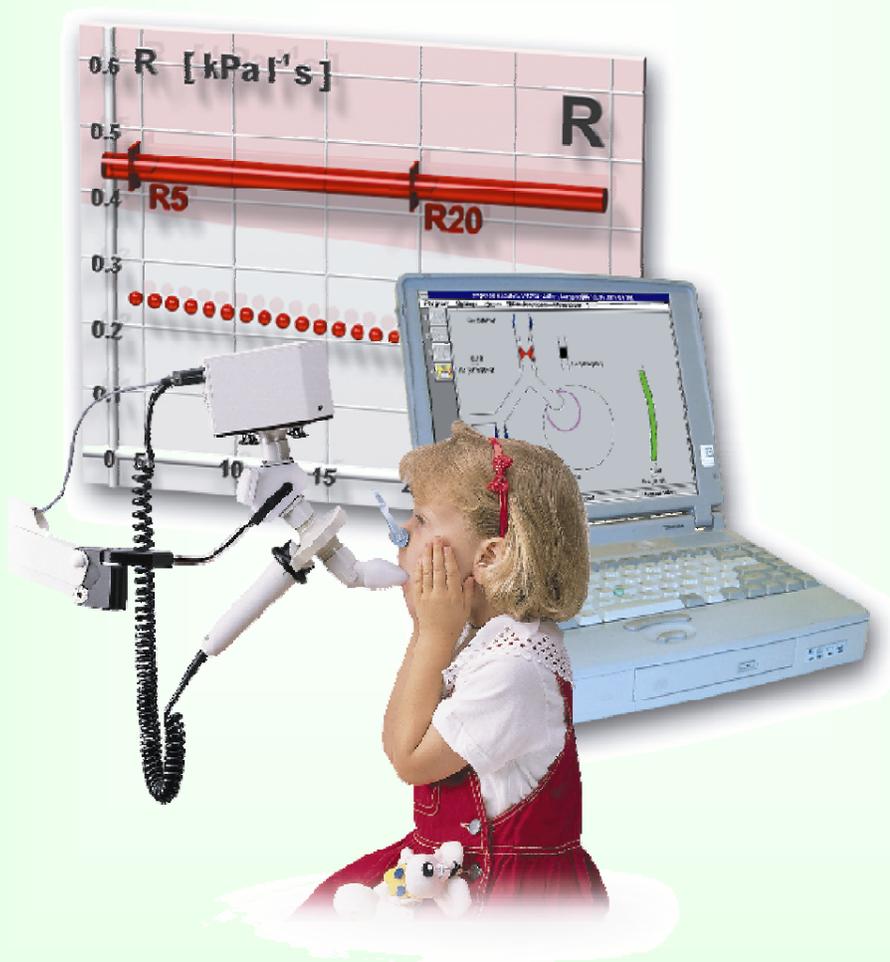


当院では 努力の要らない 肺機能検査ができます



一般的な呼吸機能測定と異なり、マスタースクリーン IOS-J は努力を必要としない検査方法です。いつもしている呼吸を数回繰り返すだけで、安全に短時間で気道の閉塞や肺の状態など呼吸(肺機能)に関わる重要な情報がわかります。



肺は、人間が生きるために必要な酸素を取込んで不要になった炭酸ガスを排出する仕事を休みなく行っています。空気を鼻(口)から吸って気道という「空気の通り道」を通して肺の奥にある肺胞まで送り込みます。肺が広がる事で空気が気道を通り肺胞に達するとガス交換が行われ、肺が元に戻る力で空気を吐き出します。この呼吸を制限する要因は色々と考えられますが、その中でもマスタースクリーン IOS-J でわかる肺機能の情報は重要で「呼吸しにくい状態と程度」を表します。

- ・ 空気が気道を通り肺胞に到達するまでの「空気の通りやすさ」
- ・ その通り道の「どのあたりが通りにくいのか」
- ・ 呼吸するときの「肺の膨らみやすさ」

などを抵抗として解析する装置です。

空気が通りにくい状態は気道に抵抗がある場合を示し、通りにくい場所を解析します。さらに肺が膨らみにくい状態(肺が硬い状態や逆にぶよぶよな状態)でも抵抗があることを示します。たとえば COPD の場合は肺が縮みにくく、肺胞に近い気道に抵抗があります。

マスタースクリーン IOS-J は世界中の病院や呼吸機能に関わる研究所等で多く使用されており、肺や気道の状態を容易に短時間で検査し、薬の効果や喘息の状態などを客観的に確認できます。努力に依存しない、いつもの呼吸での状態を把握できる新しい呼吸抵抗測定装置です。

CareFusion
医療用具承認番号

PULMONARY PRODUCTS
FUKUDA SANGYO
21700BZY00635000